

三島市長定例記者会見資料

令和5年12月

月間行事予定

令和6年 三島市民カレンダー

2024 Mishima

仲良しきょうだい (夏梅木) 撮影者: 深石 怜菜さん (三島市)



桜舞う笑顔 (通信学研究所) 撮影者: 小池 瑞季さん (三島市)



きもちいいね♪ (源兵衛川) 撮影者: 小林 洋華さん (三島市)



はじめての列車 (楽寿園) 撮影者: 内田 美花さん (川崎市)



Mishima 2024 2024CALENDAR 来て・見て・感じて♪人も街も“三島のいいね”

令和6年版 三島市民カレンダー発行
(今年のテーマは、「来て・見て・感じて♪人も街も“三島のいいね”」)

日時 令和5年11月24日(金)
午前10時30分～

場所 三島市役所 本館2階 第二会議室

せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

～幸福学の第一人者による講演会も実施～

市民・企業と協働で「めざせ、ウェルビーイング宣言」を実施

三島市では、幸せな地域、社会の実現と地域活性化のため、ウェルビーイング講演会を開催します。講演会閉演後に、市民・企業と協働でウェルビーイングな三島の実現に向けて、「めざせ、ウェルビーイング宣言」を実施し、今や地域社会やビジネスで最も注目されている「ウェルビーイング」に地域全体で取り組んでいきます。

ここがポイント！

- 三島市自治会連合会、三島商工会議所にご賛同いただき、三島市を併せた3者による宣言。
- 宣言前に実施する講演会は、幸福学の第一人者である前野隆司氏を講師に迎えた貴重な講演です。
- 宣言後は、賛同いただいた企業や市民のウェルビーイングな取り組みを市もPRしていきます。

1 「めざせ、ウェルビーイング宣言」の内容

前野氏の研究グループが導き出した「幸せの4つの因子」を基に三島市独自の視点を取り入れた以下の項目を「三島ざくら」に当てはめた宣言。宣言後は、市民や個別の企業に宣言へのご賛同を募る予定。4つの因子より：1. 挑戦しよう 2. 感謝の気持ち 3. なんとかなる 4. ありのままに
三島市独自：5. Withみしま（自分が三島（地域）にできること、やってみたいことを考えよう）

2 講演会の内容

日 時：令和5年12月7日（木） 開演 18：30（開場 18：00） 閉演 20：00

閉演後 20：00 より「めざせ、ウェルビーイング宣言」を実施

※当日は、市長・三島商工会議所会頭、三島市自治会連合会会長が登壇予定

場 所：三島市民文化会館 小ホール

講 師：前野 隆司氏

演 題：ウェルビーイング講演会～幸せな地域、社会の実現と地域活性化～

入場料：無料

定 員：350名（要申込）

申込み：令和5年12月6日（水までに）電子申請（QRコード）、メール、FAX、ハガキ、電話で名前（フリガナ）、郵便番号、住所、電話番号、「ウェルビーイング講演会参加希望」を明記の上、三島市役所地域協働・安全課（〒411-8666 三島市北田町4-47）へ。



【前野 隆司氏】



【申込み（電子申請）】

3 講師プロフィール

現在慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授。慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター長兼務。博士（工学）。

著書に、『ディストピア禍の新・幸福論』（2022年）、『ウェルビーイング』（2022年）、『幸せな職場の経営学』（2019年）など多数。日本機械学会賞（論文）（1999年）、日本ロボット学会論文賞（2003年）、日本バーチャリアリティ学会論文賞（2007年）などを受賞

三島市環境市民部地域協働・安全課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：山本
(TEL. 055-983-2708 FAX. 055-975-3130) e-mail：chiiki@city.mishima.shizuoka.jp

せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

食を通じた地域のプロモーション・交流事業

地域の「食」をテーマとしたツアーの開催

～中国からインフルエンサーを招聘～

三島市及び近隣地域の食を中心とした魅力を海外の消費者に効果的に伝えるため、一般財団法人自治体国際化協会及び株式会社 ABC Cooking Studio と連携し、「食を通じた地域のプロモーション・交流事業」を実施します。これは、中国より、日本の食文化や日本旅行等に関心を寄せるトレンドや情報に敏感で消費意欲の旺盛な若い一般消費者（インフルエンサー）を地域の「食」をテーマとしたツアーに招聘し、フィードバックを得つつ、ツアーの様子を SNS や各種メディアで発信することで海外販路開拓やインバウンド促進につなげるものです。

ここがポイント！

- 全国でこの事業に採択された地域は4地域のみです。
- 中国からインフルエンサーを3名招聘します。
- 三島及び近隣地域の食材、食体験をはじめとする地域資源の魅力を楽しみながら発信してもらいます。

- 1 招聘国 中国（3名）
- 2 期間 令和5年12月4日（月）から12月7日（木） 3泊4日
- 3 日程 12月4日（月） 源兵衛川散策 ～ 桜家（見学）～ すみの坊（昼食）～ 三嶋大社正式参拝 ～ 大村精肉店（みしまコロッケ）～ 高田屋（夕食）～ BAR YUMOTO
12月5日（火） 朝散歩（楽寿園、白滝公園、三嶋大社）～ 箱根西麓農業体験 ～ 料理教室（坂公民館・昼食）～ 三島スカイウォーク（ジップライン）～ ハートフルダイニング おんふらんす（夕食）
12月6日（水） 十国峠レストハウス ～ 酪農王国オラッチェ ～ 伊豆わさびミュージアム ～ 伊豆ゲートウェイ函南 ～ 四季酒菜 風土（夕食）
12月7日（木） ファンケル美健三島工場～ 和カフェ兎月園（和菓子作り体験）～ 登喜和（和食・日本庭園）～ W i s k e y & C o（工場見学ツアー）

※宿泊は、「富士山三島 東急ホテル」

- 4 その他 (1) 取材につきましては、下記の日程内にてお願いします。（※事前連絡をお願いします）
5日（火）10:00 箱根西麓農業体験※1（フルーツパーク駐車場隣）
～11:30 料理体験※2（坂公民館）～13:40 三島スカイウォーク（ジップライン）
※1 大根の収穫及び大根干し体験
※2 箱根西麓野菜を使った「すいとん」作り
7日（木）11:00 和カフェ兎月園（和菓子作り体験）
(2) 一般財団法人自治体国際化協会
地方公共団体の国際化推進を目的として、1988年に設立した法人。
(3) 株式会社 ABC Cooking Studio
会員数が世界約168万人の料理教室。（2023年9月時点）
「世界中に笑顔のあふれる食卓を」を企業理念にしている。



【和菓子作り体験】

せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

箱根だいこん祭り・三島馬鈴薯祭り・三島甘藷祭りが復活！

箱根西麓三島野菜を楽しめるお祭りが始まります！

～新たに“とうもろこしまつり”も開催～

平成の時代に好評いただいた3つのまつり「箱根だいこん祭り、三島馬鈴薯祭り、三島甘藷祭り」が形を変えて復活します。さらに、「とうもろこしまつり」を加え、4つの祭りを今後順次開催していきます。

季節を感じる旬の野菜を味わうことができる祭りが三島に登場しますので、報道よろしくお願ひします。

ここがポイント！

- 箱根西麓三島野菜の代表格：馬鈴薯、甘藷、大根をテーマにした祭りを復活させ開催。
- とうもろこしは箱根西麓地域で一昨年からはじめた人気野菜。
- 4つの野菜をテーマにした祭りを旬の時期に開催。

【三嶋大根まつり】

1 日時・場所

令和5年12月16日（土）・12月17日（日） 9時から16時まで
JAふじ伊豆「みしまるかん」三島市谷田235-8

2 イベント情報

- ・百年の味「たくあん」販売
- ・坂もの野菜のルーツ「農兵節」披露（16日のみ）
- ・旬な「坂もの野菜」直売
- ・大根干し体験イベントあり（要予約：日程未定）
- ・大根干しが映える撮影スポットを紹介



3 これまでの経過

箱根だいこん祭りは、平成22年まで10年間、
三島馬鈴薯祭りは、平成23年まで10年間、
三島甘藷祭りは、平成28年まで11年間、開催されていて、いずれも好評を得ていた。

4 今後の日程（予定）

名称	日程	場所
甘藷まつり	令和6年2月10日（土）	JAふじ伊豆 みしまるかん
とうもろこしまつり	令和6年7月6日（土）	三島スカイウォーク
馬鈴薯まつり	令和6年7月20日（土）	三島スカイウォーク

※詳細が決定次第、改めてプレスリリースにてご案内します。

せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

三島市初！三島市エコエコデーにあわせて コミュニティバス運賃1日無料！

地域公共交通の活性化を目的に、12月1日（金）に実施する「三島市エコエコデー」にあわせて、市が運行するコミュニティバスの運賃を以下のとおり終日無料としますので、お知らせします。

ここがポイント！

●三島市エコエコデーとは

交通混雑緩和、公共交通の利用促進、SDGsの達成および地球温暖化防止を目的に行う、通勤時のノーマイカー、時差出勤、相乗り推進運動です。市内の事業所の協力・参画を得ながら、平成19年度から、6月の世界環境デーと12月の地球温暖化防止月間に実施。今回が通算25回目の取組。

●三島市初！12月1日（金）にコミュニティバス運賃1日無料

エコエコデー当日に、地域公共交通活性化とエコエコデーの事業効果拡大を目的に、市が運行するコミュニティバスを終日運賃無料とします。通勤・通学時の交通手段や買い物などの移動手段として、ぜひご利用ください。

対象路線 せせらぎ号、なかざと号、きたうえ号、ふれあい号、花のまち号、山田・小沢線
※始発から最終便まで

1 三島市エコエコデー及び市コミュニティバス運賃無料デー 令和5年12月1日（金）

2 運賃無料の対象路線（均一料金で運行している6路線）

せせらぎ号、なかざと号、きたうえ号、
ふれあい号、花のまち号、山田・小沢線

※当日は、始発から最終便まで終日運賃を無料とします。

3 参考（直近の三島市エコエコデーの実績）

実施日：令和5年6月5日（月）

参画事業所：市内19事業所

参画者数：1,873人

通勤用自家用車削減台数：357台

三島市初！
三島市コミュニティバス運賃無料
×
三島市エコエコデー



令和5年12月1日（金） 終日

三島市エコエコデー（通勤時の自家用車削減運動）にあわせて、市コミュニティバスの運賃がこの日だけ特別に「無料」となります。お出かけに、ぜひご利用ください。

対象路線 ※玉沢線は対象外です

各路線の運行状況

せせらぎ号 なかざと号 きたうえ号

ふれあい号 花のまち号 山田・小沢線



【問合せ先：三島市都市計画課 電話：983-2631】

三島市計画まちづくり部都市計画課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：原
TEL. 055-983-2631 FAX. 055-973-7241 e-mail: toshikei@city.mishima.shizuoka.jp



令和5年度 技能功労者及び優秀技能者表彰式

この表彰式は昭和51年から開催している式典で、永く同一職業に従事し、技能の練磨と後進の育成などにより産業技術向上に功績のあった者を技能功労者として、中堅・青年技能者を対象に日頃技能に研鑽している者を優秀技能者として表彰を行っています。

ここがポイント！

- 昭和51年から続く40年以上の歴史がある式典です。
- 技能功労者は同一職種に30年以上従事するその道一筋の者で、さらに後進の模範となっている者
- 優秀技能者は技能検定等の資格を有し、将来の活躍が期待される40歳以下の者

1 表彰式 令和5年12月19日(火) 午後1時30分から

2 場所 生涯学習センター 講義室

3 受章者 技能功労者(5職種 6名) 優秀技能者(4職種 4名) 別紙
(令和3年度は技能功労者4名 優秀技能者4名)

4 概要

「技能功労者」

永年にわたり同一の職業に従事し、技能の練磨と後進の育成等により業界の発展に尽くされた方々の功績をたたえ、技能功労者として表彰する。

「優秀技能者」

優れた技能を持ち、将来を嘱望される方々の功績をたたえ、優秀技能者として表彰する。

5 表彰基準

「技能功労者」

- ①原則として三島市に居住し、主に市内で同一職種に30年以上従事している者
- ②基準日(令和5年10月1日)現在、満60歳以上の者
- ③優れた技能を有し、後進の模範となっている者

「優秀技能者」

- ①原則として三島市に居住し、かつ、市内で職業に従事している者
- ②基準日(令和5年10月1日)現在40歳以下の者
- ③優れた技能を有し、将来が嘱望される者
- ④職業能力開発促進法等に基づく技能検定で2級以上の資格を有する者

6 経過

「技能功労者」

- ①昭和51年より実施 本年度で受章者は累計948名
- ②技能団体(職種ごとに構成されている団体等)及び一般市民による推薦



せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

「優秀技能者」

- ①平成19年より実施 本年度で受章者は累計90名
- ②技能団体（職種ごとに構成されている団体等）及び一般市民による推薦

7 表彰者一覧（敬称略）

技能功労者表彰

職種	氏名	ふりがな	お勤め先
電気工事	今瀬 誠	いませ まこと	近和電業株式会社
機械加工	木原 勝一	きはら かついち	株式会社 幸伸技研
建築板金	佐野 秀之	さの ひでゆき	佐野板金工業
大工職	勝又 善博	かつまた よしひろ	勝又建築
大工職	石川 伸浩	いしかわ のぶひろ	株式会社 神田工務店
とび職	石井 操	いしい みさお	石井建材

優秀技能者表彰

職種	氏名	ふりがな	お勤め先
金属熱処理	千葉 純一	ちば じゅんいち	株式会社 ハイブリッド
とび	長倉 佑樹	ながくら ゆうき	田村建設株式会社
機械加工	森 淳	もり あつし	株式会社 電業社機械製作所
左官	塚田 大輝	つかだ たいき	株式会社 ナガショウ

せせらぎと緑と 活力あふれる 幸せ実感都市・三島

令和6年版 三島市民カレンダー発行

～テーマは「来て・見て・感じて♪人も街も“三島のいいね”」～

市民カレンダーは、その年の主な事業やお知らせなどを掲載し、市民の皆様の生活に役立てていただくことを目的として、昭和42年から発行を続け、今年で58年目を迎えることとなりました。

今年の掲載写真のテーマは、「来て・見て・感じて♪人も街も“三島のいいね”」です。市内外から301の作品を応募していただき、選定させていただきました。

ここがポイント！

- 市民カレンダーは、昭和42年から発行を続け、今年で58年目。
- 掲載写真のテーマは、「来て・見て・感じて♪人も街も“三島のいいね”」。市内外から301作品が応募（平成29年版から掲載写真を公募）。

1 令和6年版市民カレンダーについて

発行日 11月30日(木)

発行部数 45,900部

配布方法 自治会・町内会を通じて、広報みしま12月1日号と同時に配布。また、市役所、生涯学習センター、市立公民館等で配布。

2 過去（5年間）のテーマ

平成31年版	今伝えたい箱根西麓の景色
令和2年版	私のイチオシの三島
令和3年版	未来に残したい三島
令和4年版	みつけた！三島の“いいね”
令和5年版	人も街もキラリ☆三島の“いいね”



【令和6年版カレンダー（表紙）】

三島市企画戦略部広報課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：神成
EL. 055-983-2620 FAX. 055-983-2719 e-mail : kouhou@city.mishima.shizuoka.jp

せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

令和5年 年末の交通安全県民運動

～安全を つなげて広げて 事故ゼロへ～

市民一人ひとりが、安全を第一に考え、交通ルールへの遵守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止を図ります。

ここがポイント!

- **初日一斉街頭広報の日（12月15日（金））**：本運動の開始を広報するとともに、街頭における交通指導等を行い、期間中に行われる各種活動への取組意識を高めます。
- **「飲酒運転等危険運転根絶の日」啓発活動（12月22日（金））**：県下一斉の「飲酒運転等危険運転根絶の日」に合わせ、三島駅南口周辺の飲食店に飲酒運転根絶の呼びかけを依頼します。

1 日時・場所

日時 令和5年12月15日（金）～31日（日）までの17日間
場所 三島市内各所

2 主な事業の詳細

・初日一斉街頭広報

日時 令和5年12月15日（金）

内容 運動開始を周知する「初日一斉街頭広報」を各種交通関係団体と協力して行います。市役所前では、三島警察署、交通安全協会三島地区支部交通安全指導員、警察署関係団体、市民関係団体、三島市職員の合計約150名で、のぼり旗を掲出してドライバーや歩行者に交通安全の啓発を行います。

・二人三脚高齢者訪問

日時 令和5年12月19日（火）

内容 交通安全指導員、民生委員、市職員が佐野見晴台の高齢者に対して、交通安全を呼びかけます。

・「飲酒運転等危険運転根絶の日」啓発活動

日時 令和5年12月22日（金）

内容 三島警察署員、交通安全指導員、市職員が、三島駅南口周辺の飲食店を訪れて啓発品を配布し、店内で飲酒運転根絶のための呼びかけをしていただくよう依頼します。また、三島駅南口周辺でのぼり旗を掲出し、通行車両や歩行者に啓発を行います。



▲初日一斉街頭広報（令和4年年末）



▲二人三脚高齢者訪問（令和5年秋）

▲「飲酒運転等危険運転根絶の日」
店舗訪問（令和4年年末）

令和5年 年末の交通安全県民運動実施計画書

- 1 期 間 12月15日(金)～12月31日(日)までの17日間
- 2 スローガン ～ 安全を つなげて広げて 事故ゼロへ ～
- 3 運動の重点
 - 歩行者と自転車の安全確保
 - 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
 - 飲酒運転等危険運転の根絶
 - 交差点での安全確認と自転車マナーの向上

4 行事関係

	実施日	行事内容	実施場所	関係機関・団体
初日一斉街頭広報	12月15日(金) 7:30～8:00	交通安全運動の周知徹底と、地域住民の交通安全意識の高揚を図り、正しい交通ルールと交通マナーの実践を促すため、関係機関団体の協力を得て、市役所前、自治会主要交差点、通学路で街頭広報・指導を実施する。	三島市役所前・自治会主要交差点・通学路	三島市(市長) 三島警察署(副署長) 警友会・市議会 交通安全協会 交通安全指導員 安全運転管理協会 交通指導員会 交通安全保護者の会 交通事故撲滅市民の会 シニアクラブ三島 地域交通安全活動推進委員
幼児親子の交通安全教室	12月15日(金) 10:00～11:00	ハッピーランドに訪れる幼児親子を対象に交通教室を開催し、正しい交通ルールを指導する。	本町タワー	三島市 交通安全指導員
二人三脚高齢者訪問	12月19日(火) 13:30～14:00	交通安全指導員、民生委員、市役所が協力し、高齢者を訪問して交通安全を呼びかける。	佐野見晴台	三島市 民生委員 交通安全指導員 三島警察署
夕暮れ時と夜間の交通事故防止の日	12月20日(水) 17:00～18:00	「ピカッと作戦！」を展開し、自発光式等の反射材用品・早めのライトオン・ハイビームの効果的活用についての広報啓発を行い、交通事故防止を図る。	市役所南交差点	三島市 交通安全指導員 交通安全協会 交通指導員会
シートベルトとチャイルドシートの着用調査	12月21日(木) 7:30～8:30	保護者に対し、シートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底を推進する。	北上保育園	三島市 交通安全指導員
飲酒運転等危険運転根絶の日	12月22日(金) 17:00～18:00	飲酒運転等危険運転根絶のために、のぼり旗を掲出し、通行車両や歩行者に啓発を行う。	三島駅南口周辺	三島市 三島警察署 交通安全指導員 交通安全協会 交通指導員会

12月の楽寿園イベント

2023年の年末まで、楽寿園では楽しいイベントが盛りだくさんです。

ここがポイント！

- 毎年恒例「菊の無料配布」を開催します。
- 楽寿園は年内12月26日（火）までの営業となります。ご注意ください。

1 12月のイベント一覧

- 12月3日（日） 9時～ 「菊の無料配布」

楽寿園駅前入園口にて、今年の菊まつりで使用したスプレー菊を無料配布します。
持ち帰り用の袋をご持参ください。



【菊の無料配布】

- 12月16日（土） 10時～16時 「N'sマルシェ」

楽寿園でも不定期開催。川の駅伊豆ゲートウェイ函南など、県東部各所で人気のフードや雑貨のマルシェ。

- 12月17日（日） 10時～15時 「アンマーマルシェ」

毎月恒例の、美味しい・可愛い・楽しいが大集結する雑貨やフードのマルシェ。
ひとり親応援企画もあります。

- 12月23日（土） 10時～15時30分 「白なまいにち」

※雨天時は、翌日24日（日）に延期

菊まつりやゴールデンウィークに開催し、毎回大人気の「コーヒーとめがね」などを主催する、“小粋なイベント屋さん nicoli” が手掛けるコンセプトでユニークなマルシェ。今回は「白」をテーマに、こだわりのフードや雑貨のお店がクリスマスの楽寿園に並びます。



【白なまいにち】

せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

子どもの創造力を育む

令和5年度 TATSU'S ワークショップ

～絵本作家 宮西達也さんと作るオリジナル段ボールアート～

『おまえうまそうだな』をはじめ、たくさんの絵本を創作している三島在住の絵本作家：宮西達也さんを講師に迎え、ワークショップを開催します。宮西さん自作の絵本を使った楽しい読み聞かせから始まり、続いて参加者が、宮西さんと対話しながら段ボールを材料とした思い思いの立体作品を作ります。最後に、宮西さんがひとりひとりにネームプレートをかいてプレゼントしてくれます。

ここがポイント！

- 宮西さんによる絵本の読み聞かせで、絵本を読むことの楽しさを実感します。
- 宮西さんといっしょに作ることで、アーティストの発想や視点の広がりに触れることができます。
- 身近にあるもので楽しい工作ができることを体験できます。
- 宮西さん独特のレタリング文字で自分の名前を書いてもらえます。

1 開催概要

- | | |
|---------|----------------------------------|
| (1) 日 時 | 令和5年12月10日(日)
午後1時30分～午後3時30分 |
| (2) 会 場 | 三島市役所大社町別館 防災研修室 |
| (3) 内 容 | 絵本の読み聞かせと段ボールアート作り |
| (4) 参加者 | 三島市内の小学3年生～6年生 15人 |
| (5) 講 師 | 宮西 達也 さん(絵本作家) |



(参考作品)

2 宮西達也さんのプロフィール

宮西達也さんは三島市在住の絵本作家。清水町で育ち、日本大学芸術学部美術学科卒業。絵本だけでなく、アニメや映画化された作品も多い。主な作品として『おまえうまそうだな』(ポプラ社)・『おとうさんはウルトラマン』(学研)『にゃーご』(鈴木出版)など多数。

市では、市内の小中学校で宮西さんの読み聞かせを実施し、子どもたちから人気を博している。

平成29年5月に三島市中央町に「TATSU'S GALLERY」をオープン。‘作家に会える店’をコンセプトに、現在は予約者がいる場合のみ店を開けている。ギャラリーには絵本原画やオブジェなどが展示されているほか、絵本やグッズの販売も行い、市内からはもちろん、県外からも多くの方が訪れる。



(宮西達也さん)

三島市産業文化部文化振興課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：中村
TEL. 055-983-2756 FAX. 055-981-7720 e-mail : bunka@city.mishima.shizuoka.jp

せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

市民の想いがこもった作品の数々が誌面を飾る
市民文芸誌 「文芸三島」
～今年は46号！入賞者表彰式も開催～

「文芸三島」は、文芸活動に関心をもつ市民の皆さんの作品を掲載した文芸誌で、昭和53年度に創刊して以来、市民の文芸創作活動の場として定着しています。12月14日（木）に発行となる第46号には、8部門に344作品の応募があり、約190作品が掲載されます。

また、12月15日（金）には入賞者表彰式及び入選者・編集委員との意見交換会が行われます。

ここがポイント！

- 昭和53年度発行の創刊号には、三島市にゆかりのある文化人の小出正吾氏、五所平之助氏、大岡博氏が選者として名を連ねる。
- 今号は高校生からの応募があり、作品を多数掲載。

1 文芸三島第46号概要**(1) 発行について**

発行・編集	三島市・三島市教育委員会・文芸三島編集委員会
発行日	12月14日（木）
発行部数	600部
作品部門	小説、評論、随筆、詩、短歌、俳句、川柳、はめ字文（計8部門）
応募資格	市内在住、通勤・通学、もしくは市内で活動する文芸団体に所属
応募点数	344点（292人）

(2) 販売について

期間	令和5年12月16日（土）～令和6年3月3日（日） ※3月4日（月）以降は文化振興課にてバックナンバーとともに販売
価格	1冊700円
販売場所	文化振興課、図書館本館、図書館中郷分館、協力書店（文盛堂、三島ブックセンター、くまざわ書店三島店、長倉書店サントムーン店）

2 文芸三島第46号入賞者表彰式

日時	12月15日（金）午後1時30分～（約1時間）
会場	市民生涯学習センター3階 講義室
賞本数	最優秀賞「文芸三島賞」7本 奨励賞「文芸三島奨励賞」37本
入賞者	別紙一覧のとおり <u>※入賞者の公表解禁は12月15日（金） 午後2時30分とさせていただきます。</u>
出席予定者	入賞者43人（重複受賞を含む）、 編集委員（委員長 水上洪一氏）7人、 選者8人（6人は編集委員を兼任）、市関係者4人



【文芸三島45号表彰式の様子】

文芸三島第46号入賞者一覧

部門	賞	入賞者氏名	ペンネーム	題名
小説	文芸三島賞		なみき りょう 並木 涼	ゴール～すべて泣き暮らした夜の祈りのためのファンタジー
	奨励賞	いっとうぎ ひでみつ 一藤木 秀光		こよみ姫 -前世の写真-
	奨励賞		ながつき あずさ 長月 梓	かお きおく 顔の記憶
評論	奨励賞		よも りんこ 四方 凜子	こうけつ しん 高潔の詩人<リルケ>再考
随筆	文芸三島賞		しみず けい 清水 恵	たす 助けられて
	奨励賞		いまい ゆうこ 今井 夕子	もつぎょう 卒業
	奨励賞		いけもと あいり 池本 あいり	あか 赤いバッグ
	奨励賞	くりはら としかず 栗原 敏一		しんちようげ はは ついおく 沈丁花(母の追憶)
	奨励賞		たかおか まさし 高岡 まさし	にん 8人
詩	文芸三島賞	たに かずこ 谷 和子		ちち あい 父の愛
	奨励賞	かつまた いくこ 勝間田 育子		あき おも 秋に想う
	奨励賞		なつき ふみ 夏木 文	わか 別れ
	奨励賞	みやま さちこ 深山 幸子		あのとき きみ あの時の君
	奨励賞		こにし うり 小西 うり	たびはみちづれ
	奨励賞	き じ みちこ 奇二 道子		あら いぶき 新たな息吹
	奨励賞	すぎやま よしひろ 杉山 佳裕		なが 流れ 流れ星
短歌	文芸三島賞	みうら いくふみ 三浦 郁文		
	奨励賞	すずき あきのり 鈴木 昭紀		
	奨励賞	すずき つねひこ 鈴木 経彦		
	奨励賞	たけい ひでお 竹井 英夫		
	奨励賞	こうやま のぶこ 神山 信子		
	奨励賞	おおかわ のぶこ 大河 信子		
	奨励賞	うえはら しげよし 上原 重義		
	奨励賞	かつかわ ひろみ 勝川 宏美		
	奨励賞	ないとう あいり 内藤 愛莉		
	奨励賞		はる 春	
俳句	文芸三島賞	すぎやま まちこ 杉山 真知子		
	奨励賞	こながや たつこ 古長谷 達子		
	奨励賞	さかもと けいぞう 坂本 恵三		
	奨励賞	あまの ゆきみつ 天野 幸光		
	奨励賞	わたなべ のりこ 渡辺 範子		
	奨励賞		なゆ	
川柳	文芸三島賞		やじうま 野次馬	
	奨励賞	きむら むつみ 木村 睦美		
	奨励賞		しんどう そら 進藤 宇宙	
はめ字文	文芸三島賞	せんみやうじ くにはこ 泉明寺 邦彦		
	奨励賞	やなぎだ しげのぶ 柳田 茂信		
	奨励賞	はしもと かじゆ 橋本 華寿		
	奨励賞	かみくら いくお 神蔵 幾男		
	奨励賞		けいすけ	
	奨励賞	もろはし いきお 諸橋 功		
	奨励賞	まつざわ こういちろう 松澤 紘一郎		
	奨励賞	かとう ひろこ 加藤 裕子		
	奨励賞	のだ ゆあ 野田 結愛		

※

※

※重複受賞者

せせらぎと緑と 活力あられる 幸せ実感都市・三島

(公財) 遺伝学普及会・三島市連携事業
遺伝学講座・みしま

この講座は公益財団法人遺伝学普及会と三島市が、平成24年度から連携事業の一環として行っており、市内にありながら普段あまり知られていない国立遺伝学研究所で、どのような内容を研究しているのかをわかりやすく情報発信し、研究所のメンバーと市民との交流を深めるために開催するものです。

豊富な研究内容を広く市民に情報発信することで、基礎科学のおもしろさや素晴らしさにふれていただき、あわせて市民の科学に対する興味や好奇心を高めます。

ここがポイント!

- 今回から自然科学や環境に関する調査研究の発表・情報共有の場としてポスター発表を行います。
- 他市町からの参加也大歓迎! 中学生、高校生も普段の授業では聞けない内容を聞くチャンス!

1 開催概要

日時 令和6年1月13日(土) 午後1時10分～4時
開場 12時30分

場所 三島市民文化会館 小ホール (三島市一番町20-5)

演題1 「見事な建築物である私達の細胞-AI を使って加速する細胞の理解-」
講師: 木村 暁 (国立遺伝学研究所細胞建築研究室 教授)

演題2 「透明な魚で解き明かす脳のふしぎ」
講師: 久保 郁
(理化学研究所脳神経科学研究センター チームリーダー)
(国立遺伝学研究所 外来研究員)

2時15分～3時10分 ホワイエにて
一般公募者による自然科学・環境に関する調査・研究成果についての
ポスター発表

参加費 無料

定員 先着350名(要申込)

申込 1月5日(金)までに、直接生涯学習課または電子申請にて



木村 暁さん



久保 郁さん



前回開催時の様子



電子申請

三島市教育推進部生涯学習課 〒411-0035 静岡県三島市大宮町1-8-38 担当: 土屋
TEL. 055-983-0881 FAX. 055-983-0870 e-mail: syougai@city.mishima.shizuoka.jp